神戸市 教育委員会だより

2026年11月発行

発行
神戸市教育委員会

神戸市立高校「『ミライ図』～魅力倍増に向けて～」を策定しました！

ここをクリック！ 神戸市立高校「ミライ図」

神戸のまちで「本」と出会う　～読書のすゝめ～

読書は、知識や教養を身につけるほか、「考える力」「感じる力」「表す力」などを育て、豊かな情操を育む活動です。子供のころに定着した読書習慣は、成長しても継続することが多く、より生活を豊かにする生涯学習の１つとなります。子供の読書時間が減る中で、気軽に本と出会える環境に触れてみませんか？



〈子供の読書時間〉

対象学年	2015年	2024年
小学4～6年	21.9分	15.6分
中学生	20.0分	14.1分
高校生	15.0分	10.1分

※東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査2015-2024」結果を参照

学校で読書をしよう！

子供が読書を身近に感じられるよう、学校でもさまざまな取組を行っています。

●学校図書館への来館促進
- 子供が選んだ本のコーナーを作る
- 各校によるイベント（図書館ビンゴ、読み聞かせ会など）

●授業の中での読書
国語の授業を中心に、関連する本を読む活動を行っています。本との出会いを楽しみつつ、自分の考えをもち、意見交換などを通して学びを深めます。



学校の外でも本に出会える！

まちには、書店やブックカフェなど、本との出会いがたくさんあります。ご家庭でも、子供がつい手に取りたくなるような配置で、表紙が見えるように数冊の本を飾ってみましょう。興味を示さないときは、休日に書店などに行き、好きな本をリサーチしてみましょう。子供の興味に一歩近づけるかも？



ここをクリック！
「本の文化」に関する神戸市公式note記事

電子図書館を利用してみませんか？

ここをクリック！ 神戸市電子図書館

中央図書館との連携により、学習タブレットから「神戸市電子図書館」の読み放題コンテンツで、1,000冊以上の本を読むことができます。ご家庭のインターネットから、休日も利用が可能です。

※保護者の方も図書館カードがあれば、電子図書館を利用できます。

「ヤングアダルト」図書を読んでみませんか？

「大人向けの本は難しい…」と感じ読書から離れる中高生もいる中で、「ヤングアダルト」というジャンルもあります。進路や友人関係など、成長する時期特有の悩みや関心に寄り添う本が多いです。学校図書館や公共図書館の「ヤングアダルト」コーナーをのぞいてみてください。

ALT（外国語指導助手）を通じた国際教育

本市では、子供たちが英語や異文化にふれ、多様な価値観を育む取組として、全校に配置しているALTとの交流を通じて、国際教育を推進しています。

ALT配置のねらい
- 授業でコミュニケーションをとり、実践的な英語力を育てる
- ALTと日常的にふれあい、英語を身近に感じる機会を増やす

さまざまな国際交流・体験プログラム

〈 ALTとの協同授業 〉

ALTと教員による協同授業を実施しています。コミュニケーションの楽しさを実感する授業を目指します。



〈 ワールドスペース 〉

ALTのアイデアで、海外の文化や生活を英語で紹介するコーナーです。掲示をみてALTと話すなど、コミュニケーションが生まれる場所になっています。



KOBEインターナショナルフェスタ

ALTが出身国を紹介するブースを出展し、子供たちが英語によるクイズやゲーム、文化体験を楽しめる参加型のイベントです。

●2027年の開催概要（予定）
日時：２月20日（土曜）12時30分～16時30分
場所：神戸ハーバーランドスペースシアター

●昨年度の参加者の声
- 英語圏以外の多様な国の文化や遊びを知り、実際にふれあう機会が得られた。次回はもっと外国語で質問したい。
- 万博のパビリオンみたいで楽しかった。
- 外国のことをあまり知らなかったけど、楽しみながら学べた。



スタンフォード大学との連携プログラム

スタンフォード大学と神戸市立高校などが連携したプログラム「Stanford e-Kobe Program」を今年度も実施します。社会問題をテーマに、授業やディスカッション、プレゼンテーションを全編英語で実施し、語学力やグローバルな視点、論理的思考力を身につけます。
今年度は、六甲アイランド高校や葺合高校などから選抜された受講生29名が参加し、９月には開講式が行われました。

●開講式の内容
- 研究内容・成果やスタンフォード大学表敬訪問をテーマとした、昨年度の優秀生徒２名（葺合高校）によるプレゼンテーション
- スタンフォード大学の研究者や講師によるプログラム説明



楽しくおいしい神戸の給食

子供たちの健やかな成長のため、楽しくおいしい給食を目指してさまざまな工夫を行っています。また、地産地消を推進し、お米は神戸市産を使用しています。12月には、全てのおかずに神戸市産の食材を使用した特別な献立「こうべ特産給食」が登場します。

地産地消の料理


▲旬菜スープ


▲トマトソースチキン


▲牛肉とキャベツの甘辛炒め、小松菜コロッケ

給食で大人気の料理や、中学生考案のメニューなど158メニューを公開中です。ご家庭でもお試しください。

※給食に関するご相談があれば、学校にご連絡ください。

ここをクリック!
給食レシピ

給食費に関するご報告

子育て支援の一環として、小学校などでの給食を無償化するとともに、中学校などでの保護者負担を軽減しています。保護者の皆さまからいただいた給食費は、全額を食材の調達に充てています。
さらに、食材価格が上昇する中でも給食の質・量を維持できるよう、不足する食材費を公費で負担しています。

ここをクリック!
給食費決算（2025年度）

〈2026年度の給食単価と負担割合〉

小学校・特別支援学校小学部
公費357円（保護者負担0円）　計357円

特別支援学校中等部
保護者負担 130円　公費227円　計357円

特別支援学校高等部
保護者負担 260円　公費 97円　計357円

中学校
保護者負担 170円　公費264円　計434円

「コミュニティ・スクール活性化フォーラム」を開催しました

8月26日に開催したフォーラムは、学校運営協議会委員や学校関係者など約500名が参加しました。
学校運営協議会の活動事例として、だいち小・木津小・渚中・原田中の代表から発表いただきました。

コミュニティ・スクールを進めるヒント　～登壇者の発表より～

- 保護者委員を増やしたことで議論が活発に。協議会で学校・保護者・地域の温度感をそろえることを大事にしています。
- 大学や企業にも協力いただき、キャリア教育などを行っています。たくさんの大人との出会いは、子供たちの可能性を広げると思います。
- 協議会の認知度アップのため、さまざまなイベントも企画。学校との関係が近づき、会議では修学旅行の行先から保護者会の在り方までさまざまな議論ができています。
- 学校・保護者・地域が連携し、子供たちの「なぜ学び、働くのか」を考える力を育てる学習に取り組み、小学校と中学校の連携を大事にしています。





学校運営協議会は、学校運営に保護者や地域の方に参加いただくための協議の場です。全ての神戸市立学校園に設置しており、保護者や地域団体の方が委員として活動されています。話し合いの内容は、学校のホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。子供たちの学びや成長を支えるため、学校運営協議会の活動へのご協力をお願いします。

学校ボランティア（学校支援員）を募集しています

神戸市立小中学校などでは、多くの学校ボランティアの方に活躍いただいています。子供たちのサポートに興味のある方は、教育人材センターへお問い合わせください。

●学校ボランティアとは

- 主に特別支援学級の子供たちの学習補助を行います。
- 特別な資格は不要です。
- 「学校ボランティアはじめてみよう相談会」を開催します。
  開催日：2027年1月26日（火曜）～29日（金曜）

※対象となるシニア世代の方は、KOBEシニア元気ポイントを活用できます。ご家族や地域の方にも、ご紹介ください。

ここをクリック！ 詳細はこちら

●ボランティアの登録方法

① 登録フォームに入力
② 教育人材センターに電話し、面談日時を相談
TEL：078-984-0741
平日 9時～17時
③ 面談の上、登録完了
※登録・紹介は随時実施。

ここをクリック！ 登録フォーム

●塩屋中学校での活動例紹介

活動のきっかけ	生徒会からの希望で、ボランティアやPTAの間で放課後学習の見守りが始まりました。
活動内容	特別支援学級に在籍する生徒の教室移動の付き添いや、学習活動のサポートもしています。活動できる日、時間帯で生徒に寄り添います。シニアの方は、教育活動を支援しながら生徒や先生方と笑顔を共有し、KOBEシニア元気ポイントをもらっています。



▲放課後学習の見守りの様子

インフルエンザ等の感染拡大の防止

今年は既にインフルエンザや新型コロナウイルス感染症が流行しています。ご家庭でもマスクの着用や手洗い、定期的な換気などの対策を行い、健康管理に十分に気を付けてください。普段と異なる症状がみられる場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

ここをクリック！ インフルエンザ等の感染拡大防止対策

●学校園での感染流行時の対応

各学校園で学級閉鎖などが生じた場合には、基本的な感染症対策に加え、感染状況に応じて以下の対策を行うことがあるため、ご理解・ご協力をお願いします。

① マスクの着用	教職員がマスクを着用し、児童生徒にも着用を促すことがあります（強制はしません）。
② 感染リスクが比較的高い活動の制限	グループワークや合唱などでは、近距離・対面・大声での会話・発声を控えます。
③ 密集の回避	室内での集会や人が密集する行事は、できるだけ避けます。
④ 学校行事での配慮	参加者に手洗い・咳エチケットを推奨し、可能な範囲で人と人の距離を確保します。
⑤ 給食時の配慮	食事中は、「机を向かい合わせにしない」「大声での会話を控える」こととし、飛沫に気を付けて食事を行います。



●小児インフルエンザ予防接種料の一部補助（生後６か月～12歳）

本市では、子育て世帯の経済的負担軽減のため、接種料の一部を補助しています。予防接種による効果と副反応をご理解のうえ、接種をご検討ください。

ここをクリック！ 予防接種料の一部補助（任意接種）

教育委員会へのご意見などは「お困りごとポスト」へ

お困りごとポスト

ここをクリック！

KOBE UNESCO City of Design
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。